

ほん・本・ブック (修練会)

公益財団法人豊島修練会 2017年5月 日号 (通算第 号)

子どものほん (子ども、小学生&中学生)

ジリアン・ドハーテ作、デリ・ガウアー絵、荒木文枝訳

「ポケット版1001ぴきの虫をさがせ」PHP研究所 本体780円

「魔法の国のお城」「ひみつの図書館」「おかしな調理場 (料理を作る場所、だいたいどころのようなもの)」「魔法の国の宴会 (パーティーのこと)」「魔法の国の運動会」「ハロウィーンのパレード」など、14の場面をとあげています。

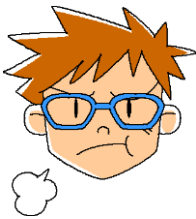
クイズが出ているので、それに答えながらさまざまな虫のことを知る楽しい本です。クイズを無視して、大きな絵を見ながら、自分の思いつきで楽しむこともできます。また、身の回りのことをクイズにして楽しむヒントにもなります。



大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)

「PHPのびのび子育て2017年4月号」 PHP教育研究所 本体362円

大人が子供に対して使う言葉で、一番多いのが「早く！」だそうです。



確かに、何かにつけて「早く！」を連発している。本書の特集では、「早く！」がなくなる朝と夜の習慣」を取り上げ、「もう、イライラしなくていい!!」方法を具体的に紹介している。

内容は、3歳、5歳、7歳の子供を例にして、次のような内容を取り上げ、小学生にも通じるもので役立ちます。

○せかしても意味がありません。子どもの「自分でやる力」を伸ばそう。○年齢別&生活習慣別『早く!』の上手な伝え方 ○「時間がない」のに子どもが「やりたい」と言い張るときの対処法 ○ぐずぐずしない朝と夜の親子習慣など。実際に、読まなくても、この項目を見ただけで、何をしたらよいかさっすのつく人もいると思います。

学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

文部科学省「幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、特別支援学校学習指導要領」平成29年3月告示

学習指導要領指導要領が10年ぶりに改定されました。学校現場の超多忙の状況を知らないはずはないのに、「指導内容と授業時数」を増やし、それをきちんと指導するために、「土曜授業や夏休み短縮、短時間活用 (朝学習、放課後学習など)、モジュール制」などの変化球を学校に求めている。

その上、「開かれた教育課程 (地域の人的物的資源の活用)」「カリキュラム・マネジメント」「資質・能力の3つの柱 (知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等)」「主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニングと言ういい方は止めた)」「現代的な諸課題への対応と求められる資質・能力」など、すべてを丸投げされたような気がする。でも、子どもに「質の高い授業」をするために、何とかしないと (溜息)。 (YAYU)



★備考★話題提供として本を紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

